

Poderi Aldo Conterno

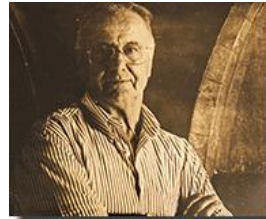
ポデーリ アルド コンテルノ

イタリア最高峰 王者のワイン

「ワインの王」と呼ばれるバローロの頂点に君臨するポデーリ・アルド・コンテルノ。創設者のアルド・コンテルノは、18世紀からの歴史を誇るジャコモ・コンテルノの5代目ですが、跡継ぎとなったのは兄のジョヴァンニで、アルドは1969年に自分の夢を実現するために独立することを決意。その際、ファヴォット・エステートを購入し、自らのワイナリー、ポデーリ・アルド・コンテルノを設立しました。ピエモンテの伝統的なスタイルを大切に受け継いできたアルド・コンテルノが作り出すバローロは、極めて熟成力が高く、その出来栄は本家をも凌ぎ、国内外で確固たる地位と人気を不動のものにしています。



ポデーリ・アルド・コンテルノでは、現在、モンフォルテ・ダルバ村の銘醸地ブッシアに25haの畑を所有し、その中にはブッシア最良の区画であるロミラスコ、チカラ、コロネッロも含まれています。この3つのクリュから厳選したブドウを使って最良年にのみ造られるのがグランブッシアです。一方で、このようにクラシックなスタイルと高い品質を維持するバローロの生産量を増やすことが難しいことから、ワイナリーでは、バルベーラやドルチェットから造るモダンワインにも目を向けています。一般的に大衆的なワインとされるこれらの品種も、彼らの手にかかれればまた格別なワインに仕上がります。



【故アルド・コンテルノ】

2012年にアルド・コンテルノが享年81歳でその生涯を閉じて以来、彼の3人の息子であるフランコ、ステファノ、ジャコモがワイナリーの運営を担っています。彼らは父親が築き上げた偉業を引き継ぐべく、徹底した収量制限と厳しい選果を行い、ワインには高品質のブドウのみを使用しています。また、醸造面では、伝統を重んじながらも近代的なアプローチも取り入れ、一貫した高品質を維持しつつ、テロワールの多様性が反映されたワインを生み出しています。



【フランコ、ステファノ、ジャコモ】

■**テクニカル情報** ■ 産地: イタリア/ピエモンテ州クーネオ県バローロ東南部モンフォルテ・ダルバ村 畑: ブッシア・ソプラナ 畑面積: 計25ha 畑の向き: 南・南西 標高: 350~400m 栽培品種: ネッピオーロ、バルベーラ、ドルチェット、フレイザー、シャルドネ、メルロ、カベルネ・ソーヴィニオン 土壌: マグネシウムやマンガンを含む青白い石灰質の泥炭土と、鉄分を多く含む密度の高い灰褐色の砂土が交互に層を成す。醸造: フレンチオーク樽、スラヴォニアンオーク樽を使用。生産本数: 約9万本

■**2015 ヴィンテージ情報** ■ 2015年は、ブドウの健康状態が良く、房の大きさも極めて均一に実った秀逸なヴィンテージとなりました。冬は非常に寒冷で雪が多く降り、春は冷涼で雨が多く、これにより地下水が蓄えられたため、記録的な猛暑に見舞われた7月に十分な水源を得ることが出来ました。暑い夏の影響でブドウの酸が比較的低く出た地域もありましたが、それでも尚、素晴らしいポテンシャルを秘めた良年となりました。

■**2018 ヴィンテージ情報** ■ 生育期前半は、春霜や初夏の大雨など不安定な気候条件により栽培家の手腕が試されましたが、夏の中盤から終わりにかけて比較的安定した天候に恵まれたため、品質・収穫量ともに2000年以来の近年稀にみる優れたヴィンテージとなりました。ピエモンテ土着品種のペラヴェルガやコレターゼ、ネッピオーロは特に最高の仕上がりで、収穫量は過去50年間で最低となった前年の2017年に比べるとピエモンテ州全体で30%の収量増となりました。

■**2019 ヴィンテージ情報** ■ 2019年は、春の冷たい雨によりブドウの成長が遅れ、病害の発生が懸念されたものの、土中に水分がしっかりと行き渡ったおかげで暑い夏を乗り越えることができました。暑く乾燥した日が8月まで続き、雹を伴う嵐があったものの、その後は素晴らしい天候が続きました。特にネッピオーロは、寒暖差の恩恵を受け、しっかりと酸を保持することができました。しかしながら9月上旬に雷雨と雹を伴う嵐が発生し、地域によりますが、特にバルバレスコでは収量が大幅に減少しました。収穫は9月上旬から10月にかけて行われました。この年は、豊かな果実味、素晴らしいストラクチャーと酸を湛えたワインになることが期待されています。

■**2020 ヴィンテージ情報** ■ 2020年は、概して例年より温暖な気候であったため、ブドウの生育は順調に進み、収穫が早まりました。4月まで暖かく乾燥した気候が続きましたが、以降は雨が多く、ウドンコ病の発生リスクが高まった地域もありました。8月、9月は素晴らしい天候に恵まれ、昼夜の寒暖差により、ネッピオーロは豊かなアロマ成分を蓄えることができました。収穫したブドウは、アロマ、バランス、ストラクチャーのどれをとっても申し分のない品質で、素晴らしい味わいのワインに仕上がりました。

■**2021 ヴィンテージ情報** ■ ※2021年ピエモンテ・バローロ地区は、ワイン・アドヴォケートのヴィンテージチャートで97点の高評価を獲得！ヨーロッパの多くの地域と同様、イタリアもかなり荒れた天候に見舞われた年でした。生育期は寒い冬で幕を開けました。その後、春は大雨、霜、雹を伴う嵐に見舞われ、収量が大幅に減少しました。夏に入り、7月は乾燥した暑い日が続く、8月に発生した深刻な熱波が9月まで続きました。ピエモンテ地方は、かなり暑く、晴天が続いたため、フェノール類がよく熟し、腐敗や病気の心配はありませんでした。この年は、厳しい気候条件により、収量は例年より少ないものの、高品質のブドウが出来ました。特にネッピオーロは素晴らしく、卓越したワインが生み出されました。

ジャコモ・コンテルノ: 「2021年は非常にふくよかでありながらも緻密さを備えています。これこそがこのヴィンテージの真髄であり、初心者の方にもネッピオーロが持つ多彩な魅力を存分に感じていただけるでしょう(ワイン・スペクテーター: 2026/4/30 掲載記事より抜粋)」

■**2022 ヴィンテージ情報** ■ 偉大な2021年に続く2022年のピエモンテ地区は、2年連続の干ばつで水不足が大きな課題となりました。冬はほとんど雪が降らず、春も乾燥が続く、開花は例年より早まりました。乾燥していたため、病害のリスクは少なく、ブドウも小粒で凝縮感のあるものが収穫できました。収量は例年より若干減ったものの、芳醇なアロマを持つ豊かな果実味を湛えたワインが出来ました。

~ D.O.C. Langhe & D.O.C. Barbera D'Alba ~

2021・2022 Quartetto Langhe Rosso

上代価格 ¥9,000 (税抜)

2020 Quartetto Langhe Rosso

上代価格 ¥8,500 (税抜)

カルテット ランゲ ロッソ

JANコード: 4543190213868 (2020VT), 4543190214353 (2021VT), 4543190214858(2022VT)

ネッビオーロ、ピノ・ノワール、メルロ、シラー4品種のブレンドから生まれる芳醇なアロマを持つ、フレッシュ感と豊かな風味が特徴のワイン。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア(D.O.C.ランゲ) 品種:ネッビオーロ、ピノ・ノワール、メルロ、シラー Alc.: 13.5%(2020VT), 15%(2021VT&2022VT) 畑:モンフォルテ・ダルバ 醸造:ステンレスタンクで8~10日間マセラシオンさせ、24-26℃でアルコール発酵。ステンレスタンクで数ヶ月寝かせた後、オークキャスクに移して数ヶ月熟成。

2022VT★ワイン・スペクテーター91点:濃い色調のよく熟した赤。ブラックチェリーやブラックベリー、スマイル、スイートスパイスの風味が広がる。肉厚で調和がとれていて、短期熟成に耐えうる十分な骨格を持つ。個性的だが魅力的な一本。

◀飲み頃:2026-2032年 | 2026/4/30掲載▶

2021VT★ワイン・スペクテーター92点:深みのある色合い。ブラックチェリーやブラックベリー、スマイル、スイートスパイスの風味を帯びたこの赤は、フレッシュかつ複雑で、調和がとれている。焦点の定まった生き生きとした酸が魅惑的な長い余韻を生む。

◀飲み頃:2025-2030掲載 | 2025/3/31掲載▶

2020VT★ジェームス・サックリング 92点:深みのある色とアロマを持つ。樽のスパイスや黒クルミ、ブラック・チェリー、コショウの実、リコリス、樹皮、マッシュルームのアロマが香る。飲み始めはしなやかだが、すぐにオーク由来のタンニンや濃厚で豊潤な果実味が口中に広がり、噛み応えのあるしっかりとしたストラクチャーが露わになっていく。ミディアム〜フルボディ。スパイシーさを帯びた余韻が長く続く。

◀飲み頃:2025年以降 | 2023/9/2掲載▶ 2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター92点



2022 Barbera D'Alba Conca Tre Pile

上代価格 ¥9,500(税抜)

2021 Barbera D'Alba Conca Tre Pile

上代価格 ¥8,400(税抜)

2020 Barbera D'Alba Conca Tre Pile

上代価格 ¥7,500(税抜)

バルベラ ダルバ コンカトレ ピーレ

JANコード: 4543190213851 (2020VT), 4543190214346 (2021VT)

4543190214841(2022VT)

この畑はブッシア・ソプラーナでも丘陵状になっている場所にあり、主にバルベラが植えられています。最も樹齢の古いブドウは樹齢45年を数えます。古樹ならではの力強く持続するアロマに凝縮感のあるフレッシュな果実味、きめ細やかなタンニン、美しい樽香、ドライなフルボディアの味わいが特徴的。鶏肉やチーズと抜群の相性を持つワインです。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア(D.O.C.バルベラ・ダルバ) 品種:バルベラ 100% Alc.:14.5%(2020VT),15.5%(2021VT),15%(2022VT) 畑:コンカ・トレ・ピーレ(ブッシア・ソプラーナの丘陵地) 樹齢:最も古い樹で45年 醸造:ステンレスタンクで8-10日間マセラシオンさせ、24-28℃でアルコール発酵。ステンレスタンクで数ヶ月寝かせ、オークキャスクに移して数ヶ月熟成。◆相性料理◆赤身・白身の肉、鶏肉、チーズなど

2022VT★ワイン・スペクテーター90点:よく熟した豊かな味わいの赤。プラムやブラックチェリー、鉄のような風味が広がる。バルベラにしては緻密なタンニンがあり、フレッシュな後味に果実と土のニュアンスが漂う。◀飲み頃:2026-2030年 | 2026/4/30掲載▶

2021VT★ワイン・スペクテーター89点:酸と滑らかさが特徴の赤で、プラムやフルーツケーキ、土、スイートスパイス、タバコの風味が豊かに広がる。ギョッと詰まった凝縮感のあるフィニッシュ。◀飲み頃:2025-2029年 | 2025/1/6掲載▶

2020VT★ジェームス・サックリング 92点:レッドチェリーを思わせる優美で心地よいベリーのアロマにマッシュルーム、クルミ、繊細なスパイスが香る。豊潤なミディアムボディで繊細なタンニンを持ち、スパイシーな後味がどこまでも続く。

◀飲み頃:2028年以降 | 2023/9/2掲載▶ 2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター90点



2021・2022 Langhe Nebbiolo Il Favot

上代価格 ¥11,000(税抜)

2020 Langhe Nebbiolo Il Favot

上代価格 ¥10,000(税抜)

2018・2019 Langhe Nebbiolo Il Favot

上代価格 ¥9,500(税抜)

ランゲ ネッビオーロ イル ファヴオット

JANコード: 4543190212472(2018VT),4543190213202 (2019VT)

4543190213875(2020VT),4543190214360 (2021VT)

4543190214865(2022VT)

赤いベリー、チェリー、カシス等の豊かなアロマを伴う品種の持ち味が余すところなく表現されたワイン。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区(D.O.C.ランゲ) 品種:ネッビオーロ 100% Alc.:14%(2018VT), 13.5%(2019VT & 2020VT), 14.5%(2021VT&2022VT) 樹齢:最大15年 醸造:ステンレスタンクで6-8日間マセラシオンさせて、24-26℃で発酵を行う。ステンレスタンクで数ヶ月寝かせ、数回澱引きした後、オークキャスクに移して数ヶ月間熟成させ、瓶詰を行う。

2022VT★ワイン・スペクテーター90点:飲みごろを迎えたふくよかなスタイルの赤。チェリーやストロベリー、ラズベリーの果実味にアニスや鉄のニュアンスが重なり、よく熟した力強いタンニンが全体を支えている。見事なバランスと長い余韻が印象的。

◀飲み頃:2026-2029年 | 2026/4/30掲載▶

2021VT★ワイン・スペクテーター90点:快活な酸を持つ引き締まった赤で、チェリーやブラックベリーの風味に土やスイートスパイスのニュアンスが香る。濃密な後味にはタンニンが感じられ、果実やスパイスの風味が長く続く。

◀飲み頃:2025-2028年 | 2025/4/30掲載▶



2020VT★ジェームス・サックリング 93 点:ミネラルを伴う心地よいアロマを持ち、砕いた石や鉄、海藻、スパイシーなブラッドオレンジ、クランベリーを思わせる豊かなアロマが漂う。しっかりとしたストラクチャーを備えた伸びやかで肉付きの良い味わい。果実味よりも緊張感を伴う張りのあるミネラルが顕著に感じられる。ピュアさを湛えたネッピオーロ・ランゲは緻密かつクリアで、長い余韻を持つ。今、まさに飲み頃だが、熟成させても美味しく味わえるだろう。《2023/9/2 掲載》 2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター92 点

2019VT★ワイン・スペクテーター88 点:しっかりと引き締まった赤で、カシス、ブラックチェリー、スギ、サンダルウッド、タバコの風味が特徴的。ギュッと詰まった後味は、堅牢ながらも、爽やかなリンゴの皮のアロマが漂う。《飲み頃:2024-2032 年 | 2022 掲載》

2018VT★ワイン・スペクテーター90 点:イチゴやチェリー、スグリ、ヨードの香りを帯びたジュシーで複雑な味わいが特徴。しっかりとした後味で、繊細な余韻が続く。今が飲み頃。生産量:1,500 ケース《2021/11/15 掲載》

2022 Langhe Chardonnay Bussiador

上代価格 ¥22,000(税抜)

2021 Langhe Chardonnay Bussiador

上代価格 ※オープン

ランゲ シャルドネ ブッシアドール

JAN コード: 4543190214339 (2021VT), 4543190214834 (2022VT)

アルコール分の高い凝縮感のあるシャルドネのみを厳しく選別して造られるこのワインは、少量生産のため、その希少価値の高さから「幻のシャルドネ」、「白のグランブッシア」と呼ばれています。しっかりとストラクチャーを備えた、熟成力の高いイタリア最高級の白ワインです。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区(D.O.C.ランゲ) 品種:シャルドネ 100% Alc.:14.5%
畑:ブッシア地区の複数区画 収穫:9 月初旬 醸造:3-4 日間ステンレスタンクで寝かせた後、樽に移し 20-24°C でアルコール発酵。澱引きした後、再度樽に戻し数ヶ月熟成。◆相性料理◆魚のオープン焼き、魚のグリル・串焼き

2022VT★ワイン・スペクテーター90 点:新樽由来のバニラやバター、バタースコッチのアロマが際立つ。トロピカルフルーツや桃、レモンタルトの風味を湛えた濃厚な味わい。しなやかさと躍動感を伴う余韻がどこまでも続く。

《飲み頃:2026-2030 年 | 2026/4/30 掲載》

2021VT★ワイン・スペクテーター87 点:バタースコッチやバニラ、バーボンの風味がこの引き締まったスタイルを際立たせている。濃密な後味が長い余韻を生み、樽の要素がしっかり感じられる。《2024/12/23 掲載》



— D.O.C.G. Barolo —

2021 Barolo Bussia

上代価格 ¥23,000(税抜)

2019-2020 Barolo Bussia

上代価格 ¥22,000(税抜)

バローロ ブッシア

JAN コード: 4543190213882(2019VT), 4543190214377 (2020VT)
4543190214872(2021VT)

チェリーやベリー系果実の華やかなアロマにスパイスが仄かに香る、極めて洗練されたタンニンを湛えた見事な味わい。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区(D.O.C.G.バローロ) 品種:ネッピオーロ 100% Alc.:14.5%
土壌:粘土質 樹齢:15-20 年 醸造:ステンレスタンクで 20-30 日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵中の温度は最高で 32°C。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

2021VT★ワイン・スペクテーター95 点:ラズベリーやチェリー、バラ、ユーカリ、スイートスパイスの風味が弾けるように香り立つ赤。滑らかで生き生きとした味わい。引き締まったタンニンが長い余韻を生む。優れたバランスと気品を備えたワインで、仄かなミネラルのニュアンスが印象的。《飲み頃:2029-2048 年 | 2026/4/30 掲載》

2021VT★ヴィノス 92 点:実に素晴らしい出来栄。深みと重層的な風味を持つ極めて表現力豊かなワインで、一口目から、圧倒的な奥行きと威厳を感じる。ブラックチェリーのコンポートやお香、砂利を思わせるミネラル、ダークスパイス、革、メントールのニュアンスが幾重にも重なり、凝縮感を一層際立たせる。肉付きの良い味わいが口中を包み込む。完璧なバローロ。

《飲み頃:2026-2033 年 | 2026/1 掲載》



2020VT★パーカーポイント 95 点:この特別なクリュ由来の洗練された力強さが際立つ、繊細でシルキーなワイン。チェリーやカシスを思わせる生き生きとした果実味があり、徐々にアヤメの根やリコリスを思わせるアーシーなニュアンスを帯びていく。仄かに香水や教会のお香のようなアロマが漂う。味わいにもこの美しく力強いニュアンスが感じられ、バランスの良いフレッシュ感と中程度以上の厚みのある豊かな味わいが続く。

《飲み頃:2026-2045 年 | 2025/1/31 掲載》

2020VT★ジェームス・サックリング 94 点:スイカや葉、新鮮なスマイル、イチゴを思わせる魅力的なアロマ。優雅さを纏った風味豊かなフルボディで、桃の果実味に溶け込んだピロードのように滑らかなタンニンや瑞々しい酸を備え、洗練されたフィニッシュが続く。少なくとも 10 年の熟成ポテンシャルを持つバローロだが、今飲んで十分美味しく味わえる。《2024/4/30 掲載》

2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター93 点 ★ヴィノス 92 点

2019VT★ワイン・スペクテーター95 点:チェリーやラズベリー、バラ、甘いスパイスの風味を持つ豊満な赤。調和のとれた魅力的なワインで、鮮やかな酸と綺麗に溶け込んだタンニンを備え、バニラの香りを纏った余韻がどこまでも続く。

《飲み頃:2026-2045 年 | 2024/4 掲載》 2019VT 他誌評価:★ジェームス・サックリング 94 点、ヴィノス 92 点

2021 Barolo Colonnello 2020 Barolo Colonnello

上代価格 ¥36,000(税抜)

上代価格 ¥34,000(税抜)

バローロ コロネッロ

JANコード: 4543190214384(2020VT), 4543190214889(2021VT)

滑らかなタンニンを持つ洗練された味わい。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区 (D.O.C.G.バローロ) 品種:ネッピオーロ 100% Alc.: 15% (2020VT), 14.5% (2021VT) 畑:コロネッロ 樹齢:45-50年 土壌:砂の多い砂礫質 醸造:ステンレスタンクで30日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の温度は最高で32℃。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

2021VT★ワイン・スペクテーター98点:チェリーやブラックベリー、スマイルのアロマが豊かに香る。緻密なタンニンと生き生きとした酸がワインにしっかりと骨格を与えている。全体的に緊張感があり、控えめな印象ながらも、シャープで驚くほど長い余韻を持つ。タルルや黒コショウ、ミネラルのニュアンスが仄か香り立ち、複雑味を添える。◀飲み頃:2030-2050年 | 2026/4/30 掲載▶

2021VT★ヴィノス94点:非常に美しく、官能的なワイン。赤みを帯びた果実やザクロ、ブラッドオレンジ、スパイス、鉄、ホワイトペッパーの香りにフローラルなニュアンスが重なる。深みのあるアロマと果実の凝縮感が見事な調和を見せる。あと数年の熟成で、素晴らしい飲み頃を迎えるだろう。◀飲み頃:2028-2039年 | 2026/1 掲載▶

2020VT★ジェームス・サックリング98点:鮮やかなガーネット色。スイカやミント、新鮮なスマイル、石のようなミネラル香が漂う深みのある力強いアロマ。甘美なフルボディの味わいで、際立つ酸があり、力強いワインでありながらもビロードを思わせる類を見ない上品なタンニンを持つ。オークは完全に溶け込んでいて、長期熟成型のバローロらしい引き締まったフィニッシュが印象的。
◀飲み頃:2027年以降 | 2024/4/30 掲載▶

2020VT★ワイン・スペクテーター95点:調和のとれた滑らかな赤。チェリーやラズベリー、バラ、ミネラル、ワイルド・ローズマリー、オーク由来のスパイスを思わせる香りや味わい。複雑さや表現力の豊かさに加えて、しっかりとストラクチャーが感じられ、繊細な余韻がどこまでも続く。素晴らしいポテンシャルを秘めている。◀飲み頃:2028-2047年 | 2025/2/28 掲載▶

2020VT 他誌評価:ヴィノス93点



2020-2021 Barolo Cicala

【750ml】 上代価格 ¥36,000(税抜)

2021 Barolo Cicala

【1.5L】 上代価格 ¥78,000(税抜)

2020 Barolo Cicala

【1.5L】 上代価格 ¥74,000(税抜)

2019 Barolo Cicala

【1.5L】 上代価格 ¥70,000(税抜)

バローロ チカラ

JANコード: 4543190213912 (2019VT/1.5L), 4543190214391 (2020VT/750ml)

4543190214407(2020VT/1.5L), 4543190214896(2021VT/750ml)

4543190214919 (2021VT/1.5L)

イタリア語で「セミ」を意味するチカラと名付けられたこの畑は、45-50年前に開墾され、幾度かブドウ樹の植え替えが行われました。主要品種は、ランビアというネッピオーロのクローンで、アメリカ原産のルペストリス種の台木から接ぎ木されました。

■テクニカル情報■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区 (D.O.C.G.バローロ) 品種:ネッピオーロ 100% Alc.:15% 畑:チカラ 土壌:粘土・石灰岩質 樹齢:最大45-50年 醸造:ステンレスタンクで30日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の温度は最高で32℃。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

2021VT★ワイン・スペクテーター97点:肉厚でまろやかな質感を持つ表現力豊かな赤。チェリーやラズベリー、ハイビスカス、鉄、スイートスパイスを思わせるニュアンスが香る。しなやかな質感に緻密で洗練されたタンニンが加わり、全体を引き締める。いきいきとした多彩な表情を見せる余韻がどこまでも続く。◀飲み頃:2030-2050年 | 2026/4/30 掲載▶ 2021VT 他誌評価:★ヴィノス95点

2021VT★ヴィノス95点:ダークフルーツや鉄、砂利、お香、タバコ、乾燥ハーブ、チョコレートの風味が詰まったワイン。時間とともにミネラル感が増していくが、この2021年チカラは濃厚でふくよかな印象だ。とはいえ、全体のバランスは素晴らしい。瓶内であと数年熟成させたい。◀飲み頃:2028-2041年 | 2026/1 掲載▶

2020VT★ジェームス・サックリング97点:深みのあるガーネット色。香りは控えめで、シナモンや甘いスマイル、チェリーの種、バルサミコのような香りがふわりと漂う。濃厚なアタックが印象的な凝縮感のある味わいで、力強さの中にビロードのような滑らかさがある。洗練されたシャープなタンニンは持続性があり、酸も綺麗に溶け込んでいます。見事なバランスと凝縮感を兼ね備えたワイン。
◀飲み頃:2030年以降 | 2024/5/1 掲載▶

2020VT★ワイン・スペクテーター95点:力強いワインで、チェリーやラズベリー、鉄、メントール、スパイスの風味をしっかりとタンニンと爽やかな酸が引き立てている。コショウを思わせるピリッとした快活な味わいは、エネルギー感で、長い余韻が印象的。見事なバランスと豊かな表現力を持つワイン。◀飲み頃:2027-2047年 | 2025/2/28 掲載▶ 2020VT 他誌評価:ヴィノス93点

2019VT★ジェームス・サックリング96点:焼いたオレンジの皮、ナツメグ、ヘーゼルナッツ、熟したドライ・ストロベリーのアロマが香る。ミディアム〜フルボディ。直線的でしっかりとタンニンがあり、フレッシュで生き生きとした後味が印象的。躍動感を備えた上質なワイン。
◀飲み頃:2027年以降 | 2023/7/28 掲載▶ 2019VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター97点、ヴィノス94点



2021 Barolo Romirasco

上代価格 ¥58,000(税抜)

2020 Barolo Romirasco

上代価格 ¥54,000(税抜)

バローロ ロミラスコ

JANコード: 4543190214414(2020VT), 4543190214902(2021VT)

2021VT がワイン・スペクテーターのピエモンテ産ワイン特集記事(2026年4月30日掲載)で最高点の99点を獲得!!

ロミラスコの畑は、50-55年前前に開墾され、その後何度かブドウ樹の植え替えが行われました。主要栽培品種は、ランピアというネッピオーロのクローンで、アメリカ産のルベストリス種の台木から接ぎ木されました。

■テクニカル情報■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州バローロ東南部ブツシア地区(D.O.C.G.バローロ) 品種:ネッピオーロ100% Alc.:15% 畑:ロミラスコ 土壌:石灰岩・粘土・マグネシウム 樹齢:50-55年 醸造:ステンレスタンクで30日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の最高温度は32℃。数回澀引きし、オークキャスクで熟成。

2021VT★ワイン・スペクテーター99点:グラスに鼻を近づけるとブラックチェリーやカシス、ブラックベリー、スマレの香りや風味がたっぷりと感じられる力強い赤。鉄や黒コショウ、ユーカリ、タールのニュアンスも重なる。陰影のある重厚な造りだが、フィネスに富み、見事なバランスを備えている。余韻が果てしなく続く。卓越した一本。《飲み頃:2030-2053年 | 2026/4/30 掲載》

2021VT★ヴィノス96点:非常に生き生きとしていて、フィネスに富んでいる。最近試飲したロミラスコの中でも、屈指の出来栄。軽やかだが、その第一印象を裏切るようにピュアなエネルギーをたっぷりと湛えながら、口中を勢いよく駆け抜けていく。ミディアムボディながらもしっかりとしたストラクチャーを備えたバローロで、チョークやミント、ホワイトペッパー、ハーブ、鉄、ドライフラワーのニュアンスが華やかなアロマを引き立てている。仄かなオークのニュアンスがワインに馴染むまで時間が必要だ。完璧な仕上がり。《飲み頃:2028-2041年 | 2026/1 掲載》

2020VT★ワイン・スペクテーター97点:張り詰めたような緊張感や密度の高いタンニン、オーク由来のスパイスのアロマとフレーバーを備えながらも、優雅で繊細なスタイル。イチゴ、チェリー、バラを主体としたアロマにブラックペッパーやスパイスの効いた青菜のニュアンスが香るスパイシーな赤。酸が全体を引き締め、果実味やミネラル感、スパイスのニュアンスを伴う長い余韻へと続く。卓越したポテンシャルを感じさせる。《飲み頃:2028-2048年 | 2025/2/28 掲載》

2020VT★ジェームス・サックリング97点:濃厚なガーネット色を呈し、深みと力強さが際立つ。ルバーブやビターオレンジ、地中海のハーブ、パルマ産のスマレ、シナモンを思わせる香りが漂う。アタックは堅牢で、密度が高く、ピロードのような質感を持つ。フルボディで、見事な果実の凝縮感があり、黒鉛のようなミネラル感とともに引き締まった爽やかな酸が広がる。長期熟成を期待させるしっかりとしたストラクチャーはあるものの、過度なエキス分は感じない。《飲み頃:2027年以降 | 2024/5/1 掲載》 2020VT 他誌評価:ヴィノス94点



2015 Barolo Riserva Granbussia

上代価格 ¥140,000(税抜)

バローロ リゼルヴァ グランブツシア

JANコード:4543190214421

バローロ・リゼルヴァ・グラン・ブツシアには、ブツシア最良の区画、ロミラスコ、チカラ、コロネッロで育つ最も樹齢の古い樹から丹念に手摘みで選定されたブドウを使用。リリース前に少なくとも9年間をセラーで過ごす最高のヴィンテージのみ限定生産される特別なワインです。ジェームス・サックリング100点を2回(2005年、2008年)獲得し、不動の人気を誇ります。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部モンフォルテ・ダルバ(D.O.C.G.バローロ) 畑:ロミラスコ、チカラ、コロネッロ 品種:ネッピオーロ100% Alc.:14.5% 醸造:ステンレスタンクで30日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の最高温度は32℃。澀引きし、オークキャスクで熟成。

■コメント■ 外観は、濃いルビー色。湿った葉、林床、新鮮なキノコを思わせる深みのあるアロマがあり、空気に触れるとプラムやブロードのタバコのニュアンスが表れ複雑さを増していく。味わいは、フルボディで生き生きとした果実味とエネルギーを湛えながらも、エレガントさも感じられる。後味にセージやダークチョコレートの風味が広がり、長い余韻がどこまでも続く。少なくとも20年先まで楽しめる秀逸なワイン。

★ワイン・スペクテーター97点:適度な円やかさを帯びていて、ラズベリーやチェリー、干し草、鉄、オーク由来のスパイスの風味に白トリュフやバラ、秋の森を思わせるニュアンスが香る。しっかりとした酸と密度の高いタンニンがワインを支え、重層的に広がる余韻がどこまでも続く。非常に魅力的なワイン。《飲み頃:2026-2048年 | 2025/2/28 掲載》

★ヴィノス96点:非常にセクシーなワイン。よく熟した継ぎ目のない魅力的なワインで、完璧な仕上がりだ。プラムやブラッドオレンジ、スイートスパイス、ザクロ、フレンチオーク新樽のニュアンスを完熟したタンニンが包み込む。すべての要素が綺麗に調和している。魅力溢れるワインだが、ややオークが濃厚な印象だ。その一方で、10年ほど経った今でも非常にフレッシュである点は強調しておきたい。グランブツシアは手が出しにくい価格帯のワインだとは思いますが、とても素晴らしいワインであることに疑いの余地はない。《飲み頃:2024-2034年 | 2025/1 掲載》

